



Message from International committee

実践的海外プロジェクト⑬

～シニア技術者の海外業務への取り組み～

国際委員会

中嶋 一雄 | NAKAJIMA Kazuo

インタビュー対象者プロフィール

対象者: 稲見 多加夫 (INAMI Takao) (66歳)
所属: (株) オリエンタルコンサルタンツグローバル
専門分野: 道路
経験年数: 国内19年、海外25年
海外業務実施国: ベトナム、インドネシア、タイ、ネパール、トルコ、ホンデュラス、ケニア、エチオピア、モザンビーク等17ヶ国

プロジェクト内容

プロジェクト名: ベトナム北部地域交通安全改善プロジェクト
発注機関名: ベトナム社会主義共和国 国家交通安全委員会 (国際協力機構 (JICA) ローン)
実施期間: 2009年12月～2014年7月
担当業務: プロジェクトマネージャー



図1 プロジェクト位置図

インタビュー内容

- Q1 ご紹介いただくプロジェクトの概要を教えてください。
A1 本プロジェクトは、ベトナム北部地域のうち、首都ハノイを含む10の省 (全58省、中央直轄市5市) について、国道4路線 (3号線、5号線、10号線及び18号線) を対象道路とした交通安全改善事業で、ハード面とソフト面を含めた次の4つのコンポーネントについて実施したものです。
① 交通事故の多発地点や危険箇所に対する道路構造の改善
② 交通警察官への交通安全教育と資機材供与
③ 中高等学校を中心とした学校の教員及び生徒への交通安全教育及び資機材供与
④ 住民への交通安全教育と啓蒙活動
上記の4つのコンポーネントは、国家交通安全委員会を主管省庁とし、運輸省、公安省及び教育・訓練省と3つの省庁も関係しており、合計すると4つの省庁の所管業務が対象となる複雑な事業でした。
また、現場での事業実施に当たっては、4つの省庁の他、10の省政府 (Province) との協議・調整・協力等も不可欠であり、事業の実施に関係する機関が14もあり、地域も広範囲にわたる事業です。
Q2 本プロジェクトでの課題や苦労した点について教えてください。
A2 関係する機関等が一般的なプロジェクトと比べて多く、また各機関が独立した体制であり、事業実施全般にわたり必要な機関間の調整及び協力の取り付けはコンサルタントの役割とされていたこと

もあり、事業の円滑な実施のために非常に多くの時間を要しました。

このうち、特に国道5号線の工業団地付近では、工業団地に向かう従業員が国道を徒歩やバイク等で横断し、交通渋滞や交通事故発生の原因となっていました。これに対してハード面とソフト面の両面から対策を検討しました。対策を実施するにあたり、解決策の協議に時間を要しましたが、交通警察を始め住民等の理解を得ることが最大の課題でした。

- Q3 工業団地付近の道路改善に対して、どのような提案をされたのですか。
A3 ハード面では、国道の横断者をなくすことを目的に、人とバイクが通行可能な横断橋を設置すると共に、4車線の道路の中心に横断防止柵を設置し、物理的に横断ができない構造を提案しました。また、この事業の必要性、有効性の説明を、交通警察を始め工業団地の従業員、学校の教員・生徒及び住民に対して行いました。当初はなかなか理解してもらえなかったため、視覚的に図や動画等を活用した説明を行いました。また、ソフト面として、事業説明時には、交通安全と横断橋の利用方法について教育し、完成後も継続的に実施することで、正しい利用方法が定着することを目指しています。
Q4 プロジェクトを実施監理する上で、どのような点に留意されていますか。
A4 プロジェクトを監理する上で、特に下記の3点に留意しています。
① 発注機関等の関係機関、協力会社等の関係を良好に保つため、定期的なミーティングに加え、必要に応じて小まめにミーティングすることでコミュニケーションを図り、円滑にプロジェクトを遂行する。
② 現地スタッフに対し、技術力の向上を図ると共に、報告、連絡、相談や時間の管理等を教育し、事業全体の管理を行う。
③ 事業実施の際には、自らが現場を確認し、スタッフから上げられる課題点、解決策等の提案事項を議論し解決する場を極力多く設けるようにする。

まとめ

今回お伺いしたプロジェクトは、交通改善事業で、ハード面だけでなく、ソフト面の交通安全の教育まで踏み込んで実施するものであり、新たな取り組みにも挑戦され、相当なご苦労があったと思います。また、今まで経験されてきたことを活用し、特に発注機関との良好な関係、現地スタッフへの教育等、コミュニケーションを非常に重要視されていると感じました。

このインタビューを行い、「土木は経験工学」であると言われていたことを思い出しました。皆さんも海外事業をフィールドの場とし、多くの経験を積んでみませんか。



写真1 交通安全教育の状況



写真2 工業団地付近の国道横断状況



写真3 バイク通行可能な横断橋